

太陽光の力で動く扇風機を見つめる児童
＝浜松市中区の鴨江小

太陽光発電の 仕組みを理解

鴨江小 環境考える授業

地元企業から再生可能エネルギーについて学ぶ授業がこのほど、浜松市中区の鴨江小で開かれた。プロパンガスや太陽光発電を取り扱う「エネジン」(同区)の社員15人が講師を務め、5年生が太陽光発電の仕組みを学んだ。環境について考える総合学習の一環。児童

は太陽光発電システムを組み立てに挑戦し、協力し合って専用架台に太陽光パネル4枚を取り付けた。同システムで発電された電気を使って実際に扇風機やフィットネス機器などを動かし、太陽光の力を体感した。

鈴木康太君(11)は「実際に製品が動くのを見てすごいと思った。将来活躍できる発電だと思う」と感想を話した。

2020年(令和2年)11月11日(水) 静岡新聞